

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020300		事業の種類	4			
年度	2	事務事業名	公民館活動事業		予算事業名	公民館活動事業			
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦			
		取組み事項	サービスの充実を図る		担当者名	中濱 まきほ			
				実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする							
	事業の全体年度	事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度			(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する							
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度計画			
	定期講座	回数	637	530	503				
	定期講座受講者	人数	9,245	7,823	6,661				
	随時講座	回数	108	115	89				
	随時講座受講者	人数	1,482	1,648	1,002				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	3年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	0.030	100		
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.140	350		0		
	臨時職員	3.026	3.017	100	6.666	221		0		
支出内訳	人件費	9,046,094	8,363,659	92	19,668,412	235	357,960	2		
	事業費	14,278,707	13,674,253	96	4,313,471	32		0		
	合計	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109	357,960	1		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109	357,960	1		
合計	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109	357,960	1			

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
項目		30年度	1年度	2年度	3年度	
全体進捗率	事業費累計					/
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		講座受講率								
指標説明(式)		延受講者÷延講座定員								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	70	70	100.0	70	100.0		0.0		
	実績	64.6	66.6	103.1	59.8	89.8				
指標名2		年間利用者数								
指標説明(式)		利用者数								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	60,000	60,000	100.0	60,000	100.0		0.0		
	実績	50,727	46,997	92.6	33,276	70.8				

【効率性】

指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷(定期+随時)参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	2,174	2,327	107.0	3,130	134.5			
指標名2		一講座あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷(定期+随時)講座数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	31,308	34,167	109.1	40,510	118.6			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	伝統的な内容の講座を継続しながらも、積極的にインターネット等に関連する講座を取り入れ、市民のニーズに合致した講座を企画運営し、学びの場を提供した。	3
	市民ニーズ	高齢化社会となり、生涯学習に対する要求は高いものがある。多様な学びの場がある現代社会において、公民館ならではの集う学びの場を意識した講座を実施した。	
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し市民の生涯学習の支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座等の実施回数は減少した。	4
	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、積極的な事業展開は難しかったが、住民の公民館を安心して利用したいという声に応えられるよう、感染症対策を講じた上で開催した。	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との情報交換を定期的に行い、市内の講師の発掘や、講師謝礼の発生しないような講座の設立を行った。	4
	手段の最適性	季節に合わせた随時講座を企画したり、参加の多かった講座を再度企画したりして、参加者数増につながる取り組みを行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	緊急事態宣言等の影響を受けて開館できなかった期間を除けば、概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに合った事業を展開し、新規の利用者増につながるような取り組みが必要



配点	32.5
総合評価	22.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	人気のある随時講座を定期講座として定期的に行うことで新規の定期的な利用者を増やしていく

(2) 4年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	幅広い年代に対応した事業を行えるよう開催時期や曜日等の検討する。				
見直事項	時代のニーズに合わせた講座・講師を選定することで、参加者の満足度を高め、参加者増を図る。				
新規事項	図書館でよく借りられている本や講座に関係のある本等を図書館より借り、公民館の図書室に設置することで、定期的な新規の利用者増を図る。				
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持